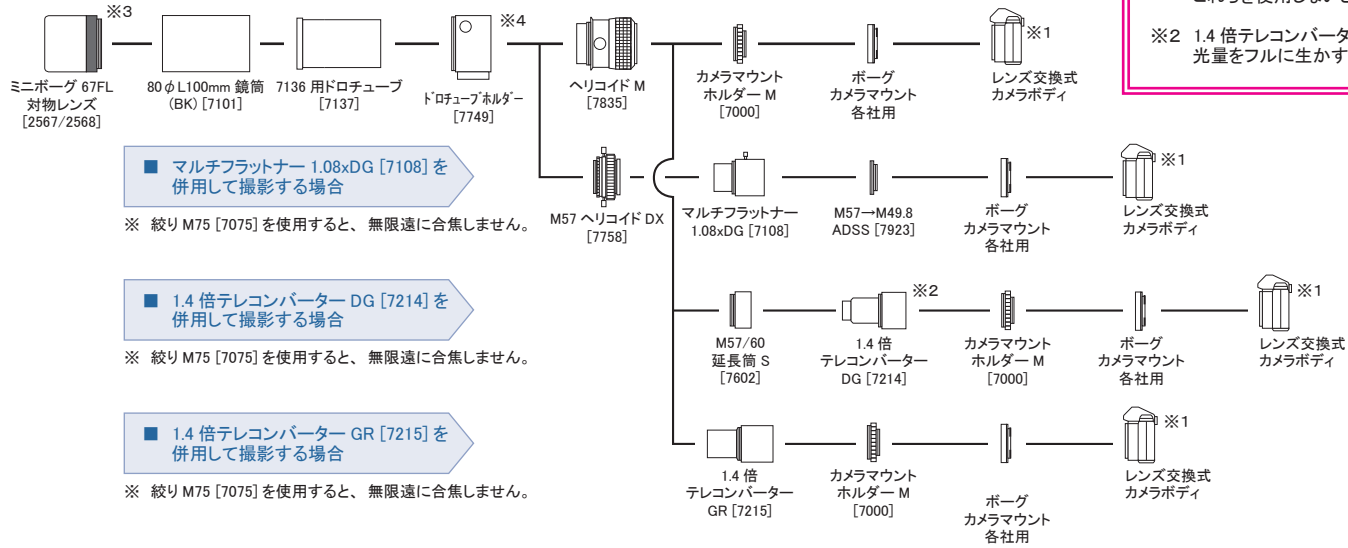


ミニボーグ67FL システムチャート③ ～ 80φ鏡筒システム編～

■ 80φ鏡筒システム (ドロチューブ+ヘリコイド併用の組み合わせ)

※3 本システムでは、67FL 対物レンズ用ラッパは使用しません。
 ※4 標準ドロチューブは使用しません。7136 用ドロチューブをご使用ください。

※1 ミラーレス一眼カメラを使用する場合は、2 ページの図の通りに [7921] や [7922] などをご使用ください。これらを使用しないと、ピントが合わない、補正レンズの性能が出ないなど弊害があります。
 ※2 1.4 倍テレコンバーター DG [7214] はレンズ径が小さいため、若干光量のロスが生じます。光量をフルに生かすには、レンズ径の大きい 1.4 倍テレコンバーター GR [7215] をご使用ください。



■ マルチフラットナー 1.08x DG [7108] を併用して撮影する場合

※ 絞り M75 [7075] を使用すると、無限遠に合焦しません。

■ 1.4 倍テレコンバーター DG [7214] を併用して撮影する場合

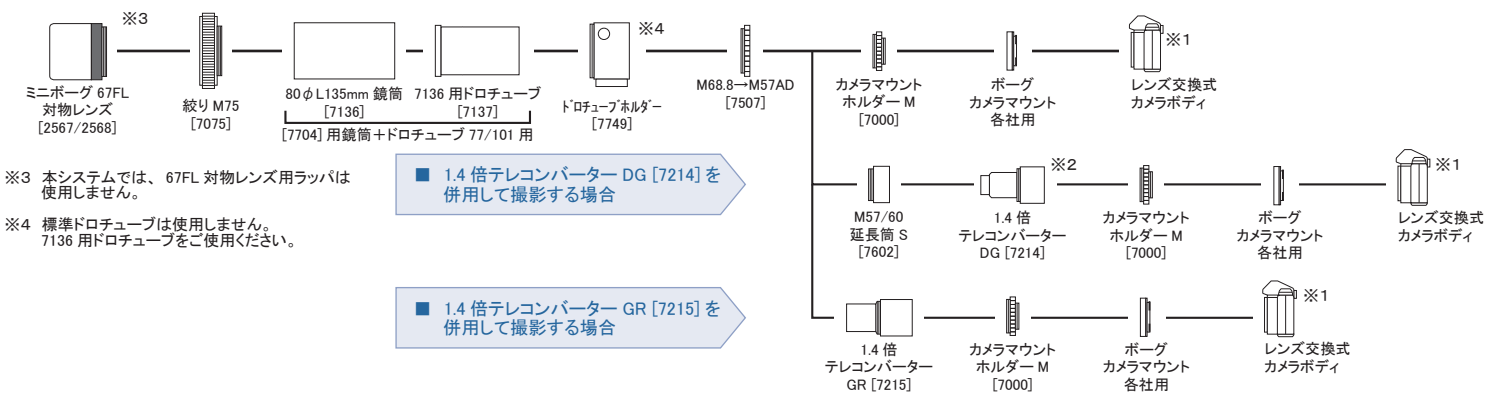
※ 絞り M75 [7075] を使用すると、無限遠に合焦しません。

■ 1.4 倍テレコンバーター GR [7215] を併用して撮影する場合

※ 絞り M75 [7075] を使用すると、無限遠に合焦しません。

■ 80φ鏡筒システム (ヘリコイドを使用しない組み合わせ)

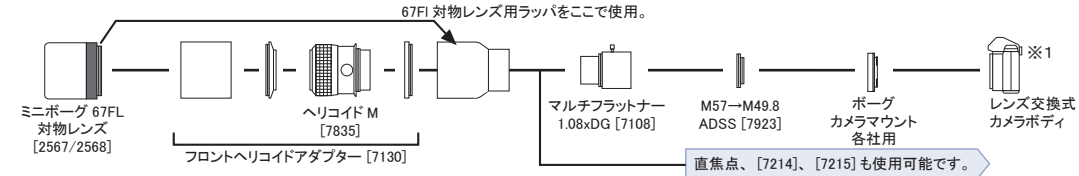
～マルチフラットナー 1.08x DG [7108] は本システムでは使用できません～



■ 1.4 倍テレコンバーター DG [7214] を併用して撮影する場合

■ 1.4 倍テレコンバーター GR [7215] を併用して撮影する場合

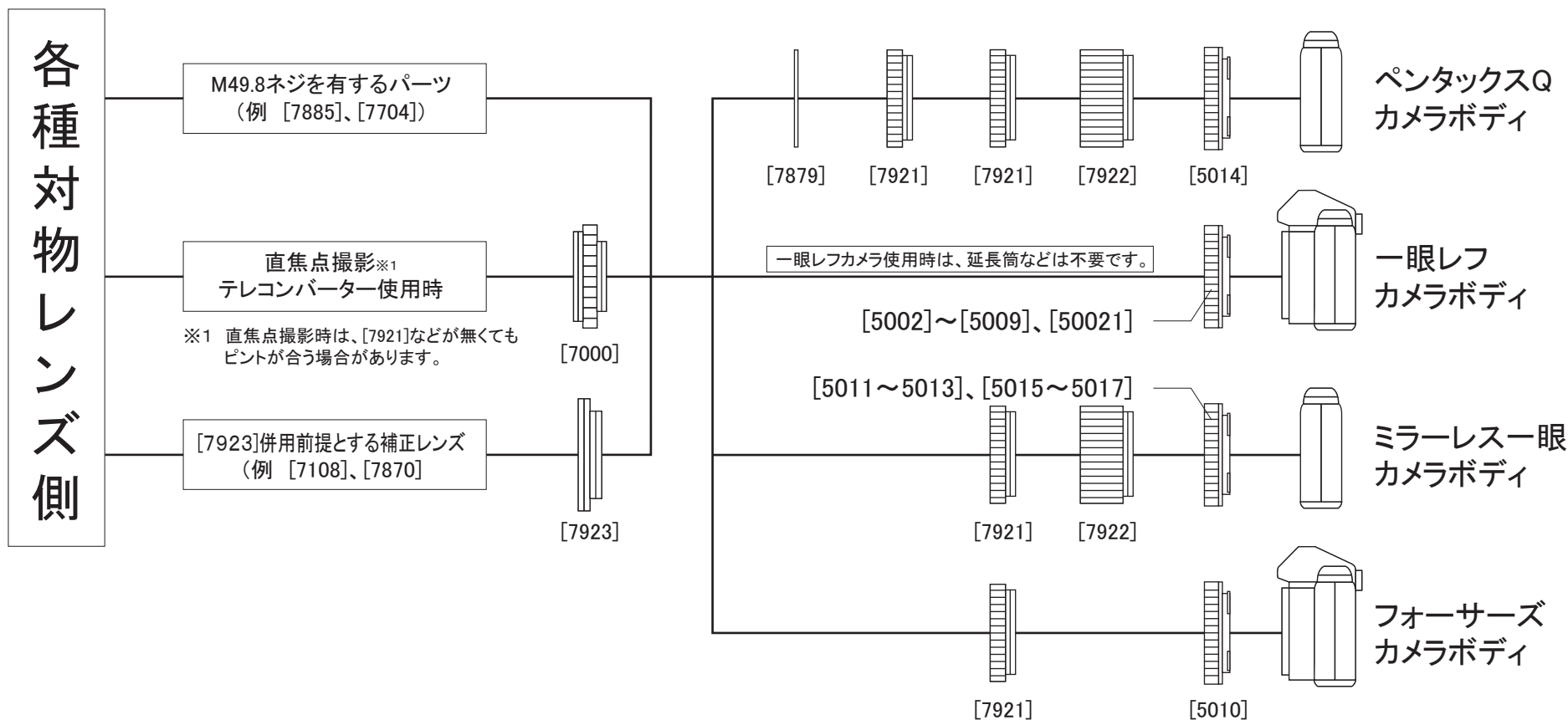
■ フロントヘリコイド 80φシステム (ドロチューブを使用しない組み合わせ)





各種カメラ別組み合わせ例

ミラーレス一眼カメラを使用する場合は、フランジバック調整用の延長筒を併用します。
 これらの延長筒が無いと、テレコンバーターやレデューサーなどの補正レンズを使用する場合に、本来の性能が出なくなります。
 直焦点撮影の場合は延長筒なしでも



最終更新日 2013/11/29